

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】藤崎市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
17	2007.1.31			青森県	藤崎町	16,858	37.26
構想の要約		稲わら、家畜排せつ物等の堆肥化、下水汚泥のコンポスト化、生分解性プラスチックの利用、製造によりバイオマスの利活用を図る。また、農産物直売所、レストラン、メタン発酵施設等を集積し、生ごみ等を熱・電力エネルギーに利活用するバイオマスタウンのシンボルゾーンを形成する。					
構想に盛り込まれた事業		1 生ごみ分別・回収システムの構築 ・資源分別収集センターの設置(民間企業) 2 生分解性プラスチックの製造 3 藤崎循環シンボルエリア(仮称)の形成 熱・電力への循環利活用 4 下水汚泥のコンポスト化					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材			
廃食用油		果樹剪定枝	○		
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材		その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造	○	ガス化	
その他()		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	
		その他()	

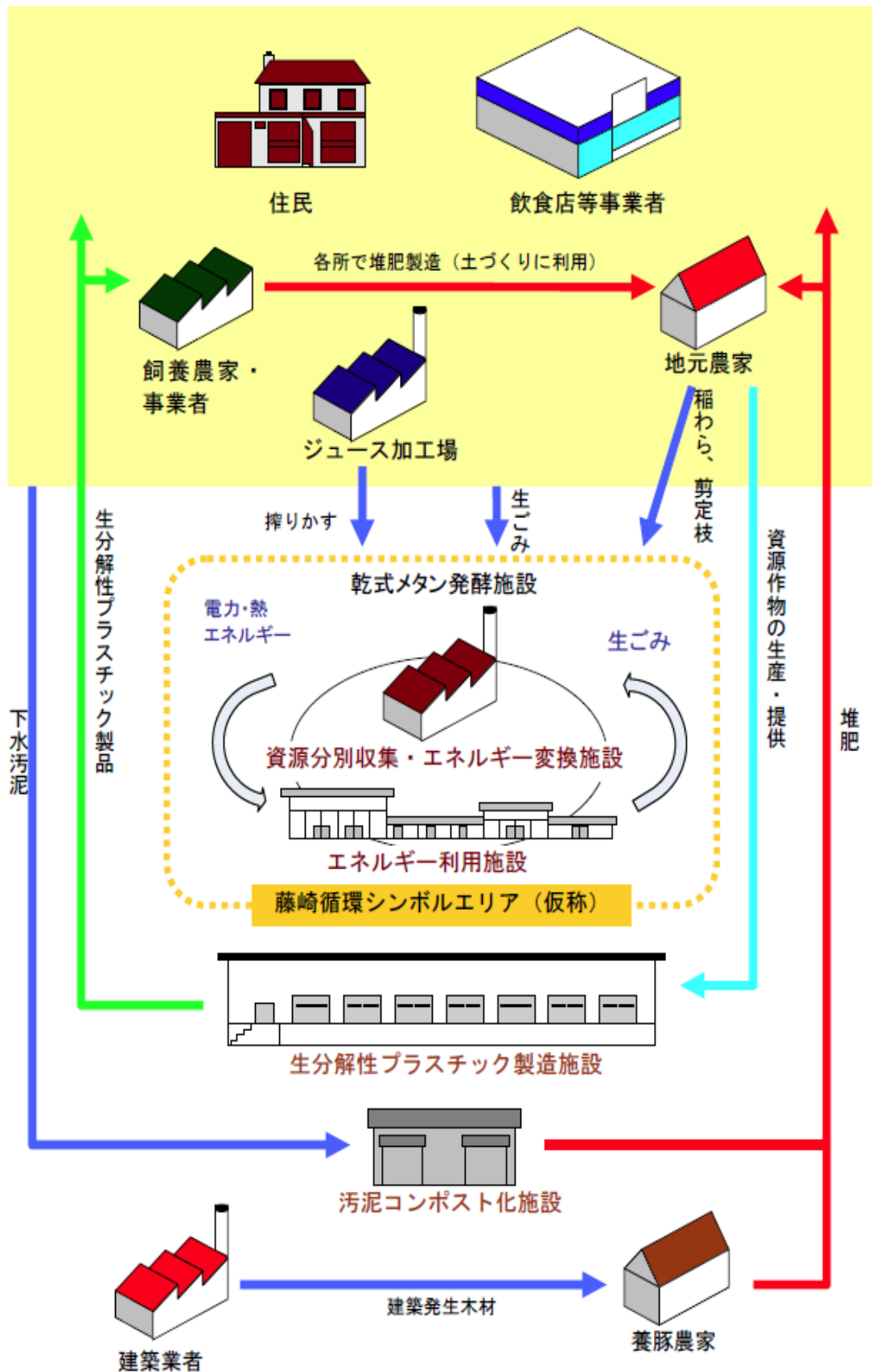
バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマスの種類	賦存量		変換・処理方法	仕向量		利用・販売	利用率
	湿潤量 (t/年)	炭素換算 (kg/年)		湿潤量 (t/年)	炭素換算 (kg/年)		
(廃棄物系バイオマス)	/	691,376	—	/	624,168	—	90%
鶏ふん	3,723	222,151	堆肥化	3,723	222,151	農地還元	100%
豚ふん	2,460	146,788	堆肥化	2,460	146,788	農地還元	100%
家庭系生ごみ	1,739	76,864	メタン発酵	1,217	53,791	発電・熱供給	70%
事業系生ごみ	544	24,045	メタン発酵	380	16,796	発電・熱供給	70%
りんご搾りかす	557	24,619	メタン発酵	557	24,619	発電・熱供給	100%
建設業廃材	828	184,429	堆肥化/ チップ化	662	147,454	農地還元	80%
下水汚泥・ケーキ	130	12,480	堆肥化	130	12,480	農地還元	100%
(未利用バイオマス)	/	3,140,629	—	/	2,037,622	—	65%
稲わら	6,480	1,855,224	堆肥化/ メタン発酵	5,184	1,484,179	農地還元/ 発電・熱供給	80%
もみ殻	343	98,201	堆肥化/ メタン発酵	274	78,446	農地還元/ 発電・熱供給	80%
りんご剪定枝	5,330	1,187,204	薫炭/ メタン発酵	2,132	474,882	農地還元/ 発電・熱供給	40%

バイオスタウン構想概要図
 (バイオスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)